

8月次活動報告書

団体名 さんむフォレスト

①目的

事業の目的

サンブスギによる環境共生型の住まいづくり・くらし方について講座を開く。積木大会と併催で呼び掛けるほか、既存の活動団体と協力することで確実に参加者を集め、山武ならではの環境負荷の少ない健康的な暮らしについて広報する。

②実施概要

当月	活動名	実施日時	場所	内容	対象者 参加者(人数)
①	積木大会と講座	8月6日	東金市	打ち合わせ会議	11名
②	積木大会と講座	8月7日	東金市	会場案内、配布資料作成	2名
③	積木大会と講座	8月8日	東金中央公民館	積木大会とすまいづくり・くらし方講座	スタッフ・10名 参加者・47名
④	PT会議	8月9日	東金市	プロジェクトチーム会議出席	1名
⑤	講座と見学会	8月9日	東金市	新月の木国際協会と共に講座の打ち合わせ	1名
⑥	積木大会と講座	8月10日	東金市	アンケート集計、会計整理他	2名
⑦	講座と見学会	8月22日	山武市	新月の木国際協会共催講座 「サンブスギ材の家は丈夫で長持ち美しい」	スタッフ・7名 参加者・20名
⑧	講座と見学会	8月23日	東金市	新月の木国際協会共催講座 結果整理	3名
来月予定	活動名	実施予定日時	場所	内容	対象者 参加者(人数)
⑨	中間報告会	9月5日	のぎくプラザ	風の宿の会議に出席	1名
⑩	講座	9月13日	東金市	すまいづくり・くらし方講座打ち合わせ 次回講座の開催場所を決定する	5名
⑪	講座	9月17日	東金市	すまいづくり・くらし方講座打ち合わせ 次回講座の具体的準備について	11名

③PR方法

チラシを作成し、連携団体と協力して配布する。
チラシを参加自治体の推進委員の方々にお願いして配布する。

④連携・協力関係団体等

- ①→ (LLP) グループ「木と土の家」
- ②→エコホームプロジェクト オン アース
- ③→山武郡市環境・省エネ住宅支援協議会
- ④→NPO 法人 新月の木国際協会

⑤成果・課題

成果・効果	事業に取り組んで見えてきた課題
8月8日（日）の積木大会と講座 山武杉を核にした資源循環の仕組みについて、展示や配布資料での広報と、スライドによる講座で理解者を増やす努力をした。アンケートの結果、概ね内容に満足したとの回答を得られ、一人でも多くの理解者をつくるという目的にかなう成果を上げることができた。	広報のためのチラシは前年度の 1/3 程度の枚数にし、メンバーとその関係団体を通じて説明を加えながら配る方針にした。結果、前年度とさほど変わらない集客数となり、講座への参加者も関心の高い方々だった。効果的な広報の仕方についてはいっそこの工夫をしたい。
8月22日（日）新月の木国際協会と共に 木材の効果的な生産を切り口に地域振興を考える新月の木国際協会と、地産地消を切り口にするさんむフォレストが共通の目標にしたがってコラボレーションすることで、相乗効果を生むことができた。	共催団体の新月の木国際協会は明快な理念を持った団体であり、今回の講座、見学会もプラットホーム事業の中での位置づけははっきりしていた。我々が共催して果たすべき役割がよく理解でき、講座や見学会の内容が組み立てやすかった。見学会は移動を伴うことがネックになるが、場所が近かったことと、人数が適当だったため混乱せず完了できた。

成果の客観的データ

千葉日報の記事

千葉日報

(日刊)

2010年(平成22年)8月26日(木曜日)

サンブスギの利用促進と
地球温暖化防止へNPO法人
新月の木国際協会は「サン
ブスギ材の家は丈夫で長
もち美しい」と題して住宅
見学会を開き、約30人が参
加した。山武市歴史民俗資
料館にある歌人・伊藤左千
夫の生家などを見学。見学
会で講演した「さんむフォ
レスト」の稗田忠弘代表
(58)は「サンブスギで家を
建てようという人が増えれ
ば、森林の環境も地元大工
の腕も磨かれる」と訴えた。
新月の木国際協会は木材
の耐久年数を延ばす特殊な
伐採方法を普及させること
で木材の有効利用と温室効



歌人・伊藤左千夫の生家を見学する参加者ら
=山武市歴史民俗資料館

活性化と森林再生を目指し
サンブスギ材の活用促進を
進めている。

当日はまず稗田代表が手
掛けた伝統的な建築法を生
かした一般住宅を見学。稗
田代表は換気を工夫して
風が屋内を流れる仕組み
などを紹介し、「何LDK
とか間取りにこだわるとエ
アコン無しでは暮らせない
家になる。設計を工夫すれば
涼しく暮らせる」と伝統
的な家づくりの利点を強調
した。

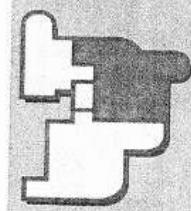
伊藤左千夫の生家では山
武市歴史民俗資料館の職員
が、いろいろの煙が家の天井
に流れ込み害虫を防ぐ仕組
みを紹介。同協会の増田正
雄理事長(74)は「コンクリ
ートの寿命はせいぜい80年
だが、伝統的な建築法と伐
採法を工夫することで千年
以上も長持ちすることがあ
る」と話した。

住宅にサンブスギを

伊藤左千夫生家など見学

山 武

県
東



千葉日報WEB
<http://www.chibanippo.co.jp>

メールアドレス
c-nippo@chibanippo.co.jp

イベント内容などの写真

	
8/8 積木大会	8/8 積木大会
	
8/8 展示・資料配布のコーナー	8/8 展示・資料配布のコーナー
	
8/8 すまいづくり・くらし方講座	8/22 新月の木国際協会と共に、古民家見学

<推進委員コメント>

団体名 さんむフォレスト

〒283-0067 TEL/0475-52-7510 FAX/0475-52-7511

<http://www.sanmu-forest.com>